

公共調達適正化について(平成18年8月25日付財計第2017号)に基づく随意契約に係る情報の公表(物品・役務等)
及び公益法人に対する支出の公表・点検の方針について(平成24年6月1日 行政改革実行本部決定)に基づく情報の公開

28年度契約

物品役務等の名称及び数量	契約担当者等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約を締結した日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	随意契約によることとした業務方法書又は会計規定等の根拠規定及び理由	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	公益法人の場合			備考
									公益法人の区分	国所管、都道府県所管の区分	応札・応募者数	
委託研究「ヤムの遺伝的解析に向けたF1集団のジェノタイプ情報の取得」	国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 理事長 岩永 勝 茨城県つくば市大わし1-1	平成28年7月1日	岩手生物工学研究センター (岩手県北上市成田22-174-4)	広く公募を行い、企画提案のあった機関について、委託研究審査委員会により審査を行い、左機関を決定した。 会計規程第38条第1項第1号	-	2,373,000	-	-				
委託研究「SSRマーカーを利用したホワイトギニアヤムの主要品種識別技術の開発」	国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 理事長 岩永 勝 茨城県つくば市大わし1-1	平成28年7月1日	国立大学法人筑波大学 (茨城県つくば市天王台1-1-1)	広く公募を行い、企画提案のあった機関について、委託研究審査委員会により審査を行い、左機関を決定した。 会計規程第38条第1項第1号	-	1,624,000	-	-				
委託研究「エリアンサスの越冬性およびバイオマス関連特性における遺伝子の解明」	国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 理事長 岩永 勝 茨城県つくば市大わし1-1	平成28年7月1日	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構畜産研究部門 (茨城県つくば市池の台2)	広く公募を行い、企画提案のあった機関について、委託研究審査委員会により審査を行い、左機関を決定した。 会計規程第38条第1項第1号	-	2,197,641	-	-				
委託研究「持続的農村発展のためのバリューチェーン評価手法の開発」	国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 理事長 岩永 勝 茨城県つくば市大わし1-1	平成28年7月1日	国立大学法人千葉大学 (千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33)	広く公募を行い、企画提案のあった機関について、委託研究審査委員会により審査を行い、左機関を決定した。 会計規程第38条第1項第1号	-	3,887,400	-	-				
委託研究「生物的硝化抑制(BNI)能が異なるブラキアリア牧草間の比較解析のための試験」	国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 理事長 岩永 勝 茨城県つくば市大わし1-1	平成28年7月1日	国際熱帯農業センター (コロンビア国)	当該研究機関は、国際農業研究協議グループ(CGIAR)傘下の研究機関であり、熱帯飼料作物であるブラキアリア牧草研究の中心的拠点である。生物的硝化抑制研究に関し、JIRCASと当該研究機関は長年にわたり協力して研究を実施してきた実績があり委託研究の実施および管理に十分な能力を有している。さらに、ブラキアリア牧草が主に南米で栽培されていることから、研究成果の直接的な適用を考えれば、現地のコロンビアにおいて本研究を実施することは非常に有効である。以上の理由から、当該機関を委託先として選定した。 会計規程第38条第1項第1号	-	2,238,000	-	-				
委託研究「BSES(生物学的同時酵素生産糖化)プロセスにおける共存微生物の開発」	国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 理事長 岩永 勝 茨城県つくば市大わし1-1	平成28年7月1日	キングモンクット大学トンブリ校 (タイ国)	当該研究機関は、セルロース分解菌の研究で多くの実績を持つだけでなく、第3期中期計画バイオマスプロジェクトにおいてBSESプロセス構築に中心的な役割を果たし、数多くの学術共著論文を共同執筆の関係、さらには分析機器、資材、人材、技術指導等、長年の積み重ねを有する。本委託研究に係る技術においては、当該機関とJIRCASで特許の共同出願をしているため、他機関へ委託することは双方にとって不利益に繋がりがかねない。以上の理由から、当該機関を委託先として選定した。 会計規程第38条第1項第1号	-	1,500,000	-	-				
委託研究「オイルパーム幹中のスターチ含量とRNA解析に関する研究」	国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 理事長 岩永 勝 茨城県つくば市大わし1-1	平成28年7月1日	マレーシア理科大学産業技術部 (マレーシア国)	当該研究機関は、前中期においてJIRCASで特許出願をした貯蔵、熟成可能な幹の判別技術の共同発明者でもあり、今後、実証・普及を進める上で協力が不可欠である。また成果の技術普及・知財戦略を考える上で、継続した技術改良や信頼関係を重ねていく必要がある。以上の理由から、当該機関を委託先として選定した。 会計規程第38条第1項第1号	-	1,200,000	-	-				
委託研究「オイルパーム生産におけるポリヒドロキシ酪酸(PHB)と幹搾汁繊維の影響」	国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 理事長 岩永 勝 茨城県つくば市大わし1-1	平成28年7月1日	マレーシア理科大学生物学部 (マレーシア国)	当該研究機関は、本委託研究課題の基礎となるPHBの肥効効果を発明、開発した共同研究者であり、JIRCASと共同特許出願を行う予定である。前中期計画においても当該研究機関とは、JIRCASと連携し肥効調節型肥料に関して研究を進めた経緯があり、PHB生産を含め肥効実証等、研究環境整備を行ってきた。これまでの研究成果を持ち、他機関へ委託することは信頼関係を損ねるだけでなく、研究効率や合理性に欠けるものと考えられる。以上の理由から、当該機関を委託先として選定した。 会計規程第38条第1項第1号	-	1,500,000	-	-				

公共調達適正化について(平成18年8月25日付財計第2017号)に基づく随意契約に係る情報の公表(物品・役務等)
及び公益法人に対する支出の公表・点検の方針について(平成24年6月1日 行政改革実行本部決定)に基づく情報の公開

様式3-4

28年度契約

物品役務等の名称及び数量	契約担当者等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約を締結した日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	随意契約によることとした業務方法書又は会計規定等の根拠規定及び理由	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	公益法人の場合			備考
									公益法人の区分	国所管、都道府県所管の区分	応札・応募者数	
委託研究「サトウキビ及びキャッサバ栽培におけるポリヒドロキシ酪酸(PHB)の影響」	国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 理事長 岩永 勝 茨城県つくば市大わし1-1	平成28年7月1日	カセサート大学 農業・農業工学生産改良研究所 (タイ国)	当該研究機関は、第3期中期計画において、キャッサバハルブからのエタノール生産について、共同研究を行い、企業間との交渉や、キャッサバ工場訪問、また栽培農家へのインタビューなど多岐にわたる協力により、エタノール発酵酵母開発を達成した。これらの経験を通じて、発酵技術や微生物培養におけるノウハウ、生化学的手法など技術移転や人材育成を行ってきた経緯がある。今期、PHB生産技術開発と研究課題は異なるが、上記経緯を含め機器、機材、人材活用の点から、他の研究機関で一から構築し直すのは非効率的で、短期間での課題推進は望めないと考えている。さらに本課題の目指す、農作物への圃場試験においてはタイ農業局への協力要請も不可欠であり、その点、本研究機関は農業局との繋がりも深いことから、将来的な研究展開にも対応可能と考えている。以上の理由から、当該機関を委託先として選定した。 会計規程第38条第1項第1号	-	1,500,000	-	-				
委託研究「画像解析を利用したササゲおよびヤマ収穫部位の形態および品質形質の迅速」	国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 理事長 岩永 勝 茨城県つくば市大わし1-1	平成28年7月1日	公益財団法人かずさDNA研究所 (千葉県木更津市かずさ緑足2-6-7)	広く公募を行い、企画提案のあった機関について、委託研究審査委員会により審査を行い、左機関を選定した。 会計規程第38条第1項第1号	-	1,805,000	-	-	公財	国所管	1	

※公益法人の区分において、「公財」は、「公益財団法人」、「公社」は「公益社団法人」、「特財」は、「特例財団法人」、「特社」は「特例社団法人」をいう。

(注)必要があるときは、各欄の配置を著しく変更することなく所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができる。